1　家庭・地域における子ども読書活動の推進

（1）家庭における読書

子どもと保護者への取り組みの充実

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度（2010年度）実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
1	リーフレットなどによる情報提供	図書館に関する情報や絵本のリスト、乳幼児の読書に関するリーフレットなどを産婦人科、小児科医院などに配布することで情報提供を行う。〔152をご参照ください〕	継続	○	配布箇所	13医院	小児科医院に、「赤ちゃんと楽しむ絵本」リストを配布した。	市立図書館
		リーフレットなどによる情報提供の機会として、母子健康手帳の交付時、妊婦・父親教室を活用する。	継続	○		一部実施	庄内保健センターでは、妊婦教室に図書館職員が出向いて絵本の楽しさや大切さについて話す機会を持っている。	健康支援室 市立図書館
2	PTA連合協議会での子ども読書に関する情報共有	PTA連合協議会での会議などの場において、子ども読書活動の取組みを報告するなど、情報提供し、広くその活動について周知の機会とする。	新規	○		実施	PTA連合会では母親委員会において読書活動のアンケートを実施した。各学校での読み聞かせの活動のほか、ある中学校ではPTAの図書委員会が活動している事例が報告された。	○小・中学校PTA連合協議会 市立図書館

子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度（2010年度）実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
3	図書館のPR	おはなし会や絵本講座などの機会に、図書館が子育て支援の場、絵本の相談窓口であることを伝える。	継続	○		実施	定例のおはなし会や子育てサロン、サークルなどで図書館が子育てを応援していることや絵本についての相談窓口であることを伝えている。またおもに1歳6か月児健診で配布している『とよなかこども読書マップ』でも身近に絵本やおはなしが楽しめる場として図書館のPRを行っている。	○市立図書館 おはなしボランティアグループ
4	新一年生へのPR	小学校新1年生を対象に作成した利用案内を小学校を通じて配布し、家庭に向けて図書館のPRを行う。〔138にも掲載しています。〕	継続	○	配布校数	41校	図書館のPRや利用促進のよい機会となっているが、内容やPR方法については今後、検討していく必要がある。	市立図書館
5	家庭への情報提供	図書館のホームページやメールマガジン、ケーブルテレビなど多様なメディアで本の紹介などを行う。〔106、137にも掲載しています。〕	継続	○			図書館のホームページで、平成22年夏より「かんさいべんのえほん」を紹介中。千里図書館のYA！BOOKS通信で取り上げた「本で楽しむお仕事紹介」の本のリストを、平成23年3月より図書館ホームページでも紹介中。	市立図書館

(2)地域における市民活動

子どもと保護者への取り組みの充実

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
6	子育てサロン・サークルでの乳幼児向けおはなし会および絵本講座の開催	校区福祉委員会で実施している子育てサロンおよび子育てサークルで子どもや子どもの読書に関する情報交流なども行う絵本講座や乳幼児向けおはなし会を行う。また子育てサロン開催時に本の貸出しを行う。 子育てサロン38校区実施(平成22年3月現在) 〔 99、127をご参照ください。〕	継続	○	回数/参加人数	24校区	各校区の子育てサロンで絵本の読み聞かせ絵本の選び方などの講座を実施している。講師は各図書館の担当やおはなしボランティアグループ、子育てサロンのスタッフなどが行っている。	豊中市社会福祉協議会 おはなしボランティアグループ 市立図書館
7	「地域子ども教室」	学校や図書館などで地域子ども教室を実施し、読み聞かせや工作などを通して読書や図書館利用を進める。	継続	○	回数/参加人数	2183回 153,834人	市内43か所(41小学校区、2公共施設)で週1回程度、子どもが地域の大人と交流しながら、学校では経験できない様々なことを学んだ。	地域教育振興室 市立図書館
8	講演会の開催	PTAと連携し、作家や児童文学研究者・司書などを学校や幼稚園に招いて保護者や子どもを対象に講演会を開き、本や読書への興味を深める。	継続	○	人数	200人	庄内小学校で読み聞かせの意義や魅力を語りあう第9回「読み聞かせ」シンポジウム(毎日新聞社、豊中市教職員組合主催、市PTA連合協議会共催)を実施した。当日は童話作家村上しいこさんによる講演のほか、村上さんの作品の読み聞かせ、小学校長や中学校学校図書館司書、地域読み聞かせサークル代表によるパネル討論も行った。	豊中市教職員組合 毎日新聞社 豊中市PTA連合協議会

子どもの本や読書に関する情報提供

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
9	ボランティアセンター登録者への情報提供	ボランティアセンター登録者に読書活動ボランティアに関する情報の提供を行う。	継続	○		実施	月1回ボランティア登録者に送付する「ボランティア募集」でそのつど情報提供を行うなどを継続して実施している。	○豊中市社会福祉協議会 市立図書館

読書環境の整備

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
10	絵本等の貸出	子育てサロン・子育てサークルの開催時に本の貸出ができる環境を整える。	継続	○	校区数	5校区	講座やおはなし会の機会に貸出を行っている。	○豊中市社会福祉協議会 市立図書館

子ども読書活動におけるネットワークづくりと情報交流の推進

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度（2010年度）実績 実績	実施状況と課題	関係部局・団体
11	グループ支援活動	公民館と図書館において活動しているボランティアグループやサークルが、相互に連携した取り組みができるよう交流を深める事業を行う。	継続	○		実施	千里公民館の登録グループ「豊中紙芝居の会」、「パネルシアター」などが地域での活動や、千里公民館での上演を行った。	公民館 市立図書館

子ども読書活動ボランティアや市民活動団体への支援の充実

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度（2010年度）実績 実績	実施状況と課題	関係部局・団体
12	子ども文庫活動への支援と連携・協力	長年にわたり、地域の中で子どもと本をつなぐ地道な活動を行っている子ども文庫に対して、市立図書館が団体貸出サービス、子どもの本に関する情報や文庫活動に役立つ情報の提供などを行い、活動を支援する。また子育て支援事業の中で連携・協力（協働）する機会をつくり、子ども文庫の活動を広く市民に知ってもらえるようPRするとともに、活動場所の確保など、個々の文庫の活動を支援する。	継続	○	団体貸出冊数	5,105冊	4か月児健診時「えほんはじめまして」での図書館からの配布物のなかに「こどもぶんこのしおり」を入れてPRに協力している。また個々の文庫のPRチラシは依頼に応じて図書館内で配布した。また図書館から離れた地域の子ども文庫については子どもや読書に関わる事業のチラシなどを配布し情報提供を行った。	子ども文庫 豊中子ども文庫連絡会（豊子連） 市立図書館
13	豊中子ども文庫連絡会への支援と連携・協力	豊中子ども文庫連絡会は、社会教育育成団体として補助金の交付を受けるとともに、図書館と共催して、「子どもと本のまつり」「子どもと本のつどい」を行う。また、豊子連講座などの独自の取り組みを通して、子どもと子どものそばにいる大人に読書の喜びを伝える活動を行う。〔129をご参照ください。〕	継続	○	団体貸出冊数	5,105冊	「子どもと本のまつり」への来場者は318人で今年度も盛況であった。平成23年度は30回目の節目の年となる。「子どもと本のつどい」はパート1で歌人の穂村弘さん、パート2では大阪自然史博物館で骨格標本を作成している「なにわホネホネ団」団長西澤真樹子さんを招き、講演会とワークショップを行った。	子ども文庫 豊中子ども文庫連絡会（豊子連） 市立図書館
	・こういう催しは初めての参加ですが、来て良かったです。穂村さんは主にエッセイを読んでいるのですが、少し印象が違いました。本の作者に直接会う機会など滅多にないので貴重な時間を過ごせました。（子どもと本のつどい　パート1　アンケートより）							
	・講師の先生のおはなしがとても上手で、子どもからの発言などにも上手に対応されていてあっという間に時間が過ぎていきました。子供も大きくなり、私一人での参加でしたが、家に帰って今日の内容を話したく思いました。（子どもと本のつどい　パート2　アンケートより）							

<table>
<tr><th rowspan="2">NO.</th><th rowspan="2">事業名</th><th rowspan="2">事業内容</th><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">状況</th><th rowspan="2">指標</th><th colspan="2">平成22年度（2010年度）実績</th><th rowspan="2">関係部局・団体</th></tr>
<tr><th>実績</th><th>実施状況と課題</th></tr>
<tr><td rowspan="3">14</td><td>おはなしボランティア活動への支援</td><td>資料や場所、活動に必要な情報を提供し、講座の開催など学習の機会を保障する。
〔153にも掲載しています。〕</td><td>継続</td><td>○</td><td>講座回数／団体貸出冊数</td><td>14,031冊、ボランティア講座6回のべ150人、フォローアップ研修講座2回156人</td><td>「子どもと本をつなぐボランティア講座」を8回連続講座から6回講座としてから3年経過した。この3年間で年々参加人数が減り、途中で欠席する方も増えているように感じる。講師と打ち合わせを重ね、連続して受講してこそ意味のある講座にしようと努めているので、なるべく全6回受講していただけるよう工夫が必要。また、読み聞かせの活動中のボランティアを対象に「おはなしボランティアフォローアップ研修講座」を年2回実施しており、こちらは毎回盛況である。
今年度は子どもの発達と読み聞かせについてと、乳幼児に対する読み聞かせについての内容で実施した。活動中のボランティアの悩みや興味にあった内容で引き続き開催していきたい。</td><td rowspan="3">市立図書館</td></tr>
<tr><td colspan="7">・自分の子ども時代と最近の子どもたちはいろいろな面での成長・発達に関して違いがあることや、個々においてもアンバランスなところがあり、それをふまえたうえで読み聞かせをすることが大事だとわかりました。（おはなしボランティアフォローアップ研修講座①「子どもの身体と心の育ちを理解する～読み聞かせを通して～」講師：津田仁美さん　アンケートより）</td></tr>
<tr><td colspan="7">・子どもの目線に立って、絵本とともにいろんなお話しが聞けて良かったです。具体的でとても分かりやすかったです。保育園の子ども達の話に胸がジーンとしました。言葉では言い表せないですが、大事なことを教えていただきました。（おはなしボランティアフォローアップ研修講座②「絵本と子どもが出会ったら～イメージが育つ読み聞かせ～」講師：徳永満理さん　アンケートより）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">15</td><td>地域ボランティア活動推進事業</td><td>中学生・高校生による読み聞かせボランティア活動への参加を積極的に進め、保育所・幼稚園・小学校（放課後こどもクラブ）をはじめ市や社会福祉協議会等が主催する催しで活動の場を広げていく。
〔68、88、154をご参照ください。〕</td><td>継続</td><td>○</td><td>講座回数／参加人数</td><td>「絵本の読み聞かせボランティア講座」3回、のべ23人</td><td>夏休みを利用して「高校生・大学生のための絵本の読み聞かせボランティア講座」を実施し、最終日には保育所での実践を行った。その後、過去の受講生も加え地域子ども教室で絵本の読み聞かせを5回実施するなどし、成果を披露する機会となった。講座に関しては、近年、高校生の受講者が少ないことが課題である。</td><td rowspan="2">地域教育振興室
市立図書館
おはなしボランティアグループ</td></tr>
<tr><td colspan="7">「講師の方がとても的確にアドバイスして下さって、自分では気づかないことも直せたかなと思います。」「学業との関係上、長期間ボランティアグループに所属することが難しいので、このような短期間でボランティアに参加できる講座があってよかったです。」「一緒にボランティアに参加した人を見て、子どもとの関わり方や読み聞かせの仕方など勉強になりました。」</td></tr>
<tr><td>16</td><td>市民活動への支援</td><td>子どものそばにいる大人に、子どもの読書の楽しさや大切さを伝える市民の活動を支援する。</td><td>継続</td><td>○</td><td></td><td></td><td>子育てサロンへ出向いて、乳幼児の保護者に対して絵本の楽しさを伝える取り組みを行った。子ども文庫に赤ちゃん絵本をまとめて貸出した。</td><td>市立図書館</td></tr>
</table>

子どもに関わる大人への啓発と研修

NO.	事業名	事業内容	区分	状況	指標	平成22年度(2010年度)実績		関係部局・団体
						実績	実施状況と課題	
17	「わいわい子育てミーティング」	年に1回子育てサークルの世話人が集まる機会となっている「わいわい子育てミーティング」の際に、子育てサークルで取り組めるプログラムの紹介や読み聞かせについての学習の機会を持つ。	継続	○	回数／参加人数	1／年 23名	前半ではサークルで取り組める手遊びやおもちゃ・絵本の紹介を行い、後半ではサークルの活動紹介や悩んでいることなどを話し合った。今後もサークル同士の情報交換や悩みなどの共有の場として継続して実施していきたい。	豊中市社会福祉協議会 市立図書館
18	小ネット研修・交流会(子育てサロンボランティアの研修・交流会)	子育てサロンが乳幼児と保護者にとって本とふれあう場になるよう、校区福祉ボランティアが子どもと本についての学習の機会を持つ。	継続	○	回数／参加人数	1／年 23名	子育てサロンの支援ボランティアの学習の機会を持っていく	豊中市社会福祉協議会 市立図書館
19	青少年指導者に向けての取り組み	指導者が集まる機会に、図書館の紹介をすることで、青少年活動での本の活用を広める。	継続	○	参加人数	のべ 77人	レクリエーション・人権講習等青少年健全育成に関わる指導者養成講習時に、講師の本や、参考図書の紹介。参加者の活動を充実することに役立っている。専門書等青少年育成に関する書籍等の充実をはかることで、いぶき図書室の特色づくりが求められる。	○青少年育成課 市立図書館